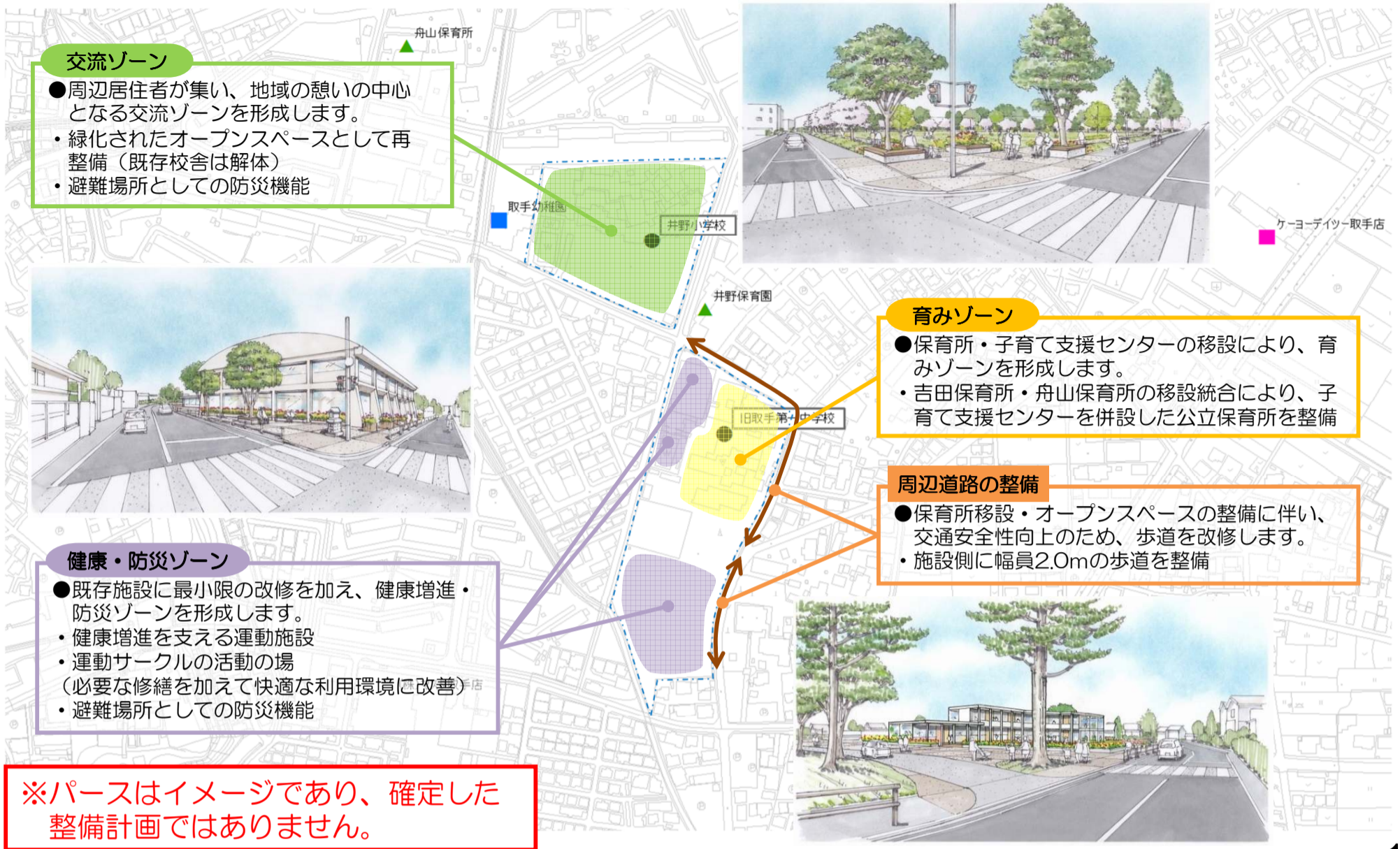


旧取手一中・井野小学校跡地利活用計画案

(1) 短中期的な土地利用計画



(2) 施設配置の考え方【短中期】

跡地	考え方	
井野小跡地	建物を全て解体し、一体的にオープンスペースとして整備	
旧取手一中跡地	体育館	必要な改修を実施して継続利用
	プール	継続利用（学校の授業）
	校舎部	校舎を解体し、新たな保育所・子育て支援センターを建設
	校庭部	市民運動施設として必要な改修を実施し、避難場所としての機能を維持



※施設配置はイメージであり、確定した整備計画ではありません。

(3) 整備方針・整備テーマ

- 地域状況に配慮した短中期の土地利用計画として、長期的な土地利用計画への移行も意識しつつ、現在までの土地の使われ方や今後のニーズなどを勘案して整備テーマを設定し、導入機能を設定しました。

基本方針

①学校跡地の特徴に配慮

- 学校であったこれまでの土地利用状況から、周辺居住者にとって思い入れもある土地となっており、短・中期的、長期的に分けた段階的な利活用計画を作成します。

②現在の利用状況に配慮

- 既に周辺地域居住者の運動スペースとして活用されていることから、今後も健康増進に資するレクリエーションの場としての機能を継承する利活用計画を作成します。

③多様な世代のニーズへの対応

- 都市計画マスタープランで示されている「様々な世代の人が住む賑わいのある住宅地としての再生」を目指す上で、子育て世代の生活を支援する機能も備えた利活用計画を作成します。

④行政ニーズへの対応

- 公共施設の更新期は到来しており、公共施設の統廃合・リニューアルが増加することが想定されています。今後増加する施設の統廃合等の種地としての活用も視野に入れた利活用計画を作成します。

整備テーマ

多様な世代が集う地域の交流の場の形成

期待する効果

東部地域の市街地環境の向上 ⇒ 取手市の付加価値向上

(4) 導入機能の考え方

		検討機能	導入の考え方	機能イメージ
多様な世代が集う地域の交流の場	つどい	交流	市民が気軽に集い、楽しめる空間をつくり、イベント等、多目的な利用も可能なオープンスペース機能として導入を図ります。	 
		レクリエーション	市民が健康で楽しい生活を送るための健康増進機能の導入を図ります。	 
	さわえあひ	子育て	市民が、安心して働き、子育てを行える環境を整備するため、子育て支援機能の導入を図ります。	
	まもる	防災	これまでの小中学校が担ってきた避難場所等の防災機能を継承します。	